

# 12・15 文化と講演のつどい (講演事前案内) (宮本憲一先生 大阪市大名誉教授)



長年にわたって沖縄問題を研究され、社会的な発言と行動をされて来た宮本憲一先生の講演に期待が広がっています。宮本憲一先生は、沖縄知事選を前に、有識者らでつくる「普天間・辺野古問題を考える会」の代表をされ、9月7日には国会内で記者会見し、名護市辺野古の新基地建設計画の白紙撤回などを求める共同声明を発表されました。72人が呼び掛け人に名を連ね、賛同呼び掛け人には新たに作家の赤川次郎さんや澤地久枝さんのほか、海洋生態学や鳥類生態学などを専門とする有識者も加わりました。会が声明を出すのは4度目で、辺野古新基地建設の断念を求め、8月11日に那覇市で開かれた県民大会の決議や、県が辺野古埋め立て承認を撤回したことに対する支持も表明。宮本先生は「辺野古の問題は日本の問題であり、私たちの問題だ。特に本土の人間の責任であることを明確に果たさないといけない」と訴えました。

アジア太平洋戦争の開戦から77年 不戦を誓う 12月15日 午後2時より 住まいの情報センター(天六駅すぐ)

## 12・15 文化と講演のつどい

- 宮本憲一先生の講演は「オール沖縄の行動に学ぶ—平和・環境・自治」です。
- 歌と舞踊は大阪歌舞団・金和美(キン ファミ)さん
- 沖縄現地からの報告者は、仲里信利さん(玉城デニー選対本部長・元衆議院議員)

### 宮本憲一先生の沖縄問題に関する主要な著作目録(その1)

- 「翁長知事の遺志を継ぐ」(白藤博行共編、自治体研究社、2018年)
- 「地方自治の革新とは—沖縄と福島から」(『中日新聞』『東京新聞』2017年2月25日朝刊)
- 「安全保障と地方自治」(『環境と公害』2017年1月号)
- 「沖縄の自治と日本の民主主義」(『世界』2016年1月号)
- 「沖縄に未来を」(『経済』2015年9月号)
- 「私の沖縄論 基地の島からエコの島へ」(『中日新聞』2010年3月5日夕刊)
- 「沖縄論：平和・環境・自治の島へ」宮本憲一・川瀬光義(『岩波書店』2010年)

#### 吹田革新懇が「政治を語るつどい」開催へ

12月3日(月)午後7時より千里市民センター大ホールで開催します。講演は前泊博盛さん(沖縄国際大学教授)、「オール沖縄」のたたかいが切り拓いた「新時代の沖縄」に学ぶ講演会です。

#### 河内長野革新懇が沖縄・3000万署名で「集会&パレード」、市民連合が「共闘を考える交流会」開催、実行委員会が「なくせ原発!河内長野デモ」を開催へ頑張っています!

10月20日「9条守れ、辺野古新基地NO!河内長野集会&デモ」を中村池公園で開催。自由党サポーターや共産党市議が連帯のアピールを行いました。「沖縄を返せ」の歌声、「9条守れ」のコールが町に広がりました。11月23日には、「安保法制廃止、立憲主義を取り戻す河内長野市民連合」が「本気の共闘を考える交流会」を開催します。また、12月11日には「なくせ原発!河内長野デモ」を実行委員会で開催の他、2月には講演会「電力自給で原発いらぬ!自然エネルギーで拓く豊かな暮らし」を開催する予定など、市民に広く参加を呼び掛ける取り組みが進められています。(河内長野革新懇ニュースより)